

令和8年5月20日

各位

株式会社 地域デザインラボさいたま

埼玉県の「北部地域振興交流拠点における『食と農のイノベーション拠点』調査検討業務」の受託について

～官民連携のノウハウを活用し、北部地域におけるイノベーションを創出～

りそなグループの地域デザインラボさいたま(社長 園田 孝文、以下「ラボたま」)は、埼玉県の「北部地域振興交流拠点における『食と農のイノベーション拠点』調査検討業務」を4月9日に受託しました。

業務概要

埼玉県が熊谷市に整備する北部地域振興交流拠点(以下、「北部拠点」)については、北部地域振興交流拠点基本計画(令和8年4月30日策定)に基づき、「地域の活力向上機能」と「未来の県庁の先行モデル機能」の異なる2つの機能ごとに整備されます。このうち「地域の活力向上機能」を持つA棟(仮称)のうち、産業振興施設は、県内有数の農業地帯である北部地域の特色を活かし、「食と農のイノベーション拠点」として整備されます。

本件は、北部拠点の産業振興施設の在り方を検討するため、食と農業関係の企業、農家等へのニーズ調査及び他のインキュベーション施設入居者へのアンケート調査等を行い、ターゲットごとに必要な施策等の検討を行うものです。

➤ **これまでの官民連携事業で得たノウハウを活用し、北部拠点の産業振興施設のあるべき姿について効果的な提案をします**

ラボたまは、これまで実施した企業・大学・有識者へのヒアリング・サウンディング調査、基本計画策定支援を通じて得たノウハウやりそなグループが持つ幅広いネットワークを活用し、北部拠点の価値を最大化するために、各種ステークホルダーのニーズを反映した有効な検討・提案を行います。

・業務内容

事業期間	2026年4月9日～2027年3月23日
実施業務	(1) 「食と農のイノベーション拠点」ステークホルダーへのニーズ調査 (2) インキュベーション施設入居者へのアンケート調査 (3) ユーザーごとに必要な施策等の提案 (4) 産業振興施設検討のためのサポート業務

・イメージ図



＜本件に関するお問合せ先＞

地域デザインラボさいたま 地域共創ソリューション部

✉:otoiwase.labtama@labtama.saitamaresona.co.jp

別紙

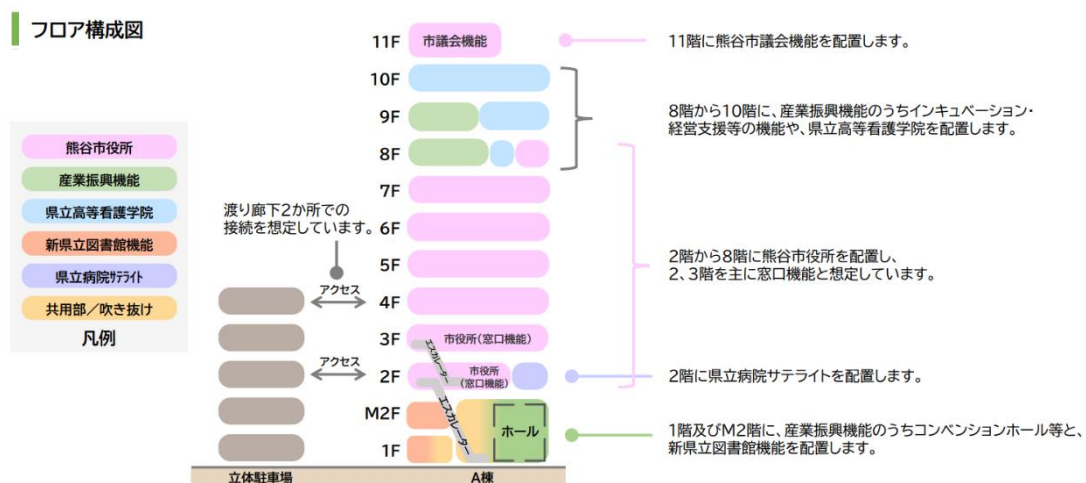
・北部地域振興交流拠点について

北部地域振興交流拠点は、県北部地域における産業振興等の促進及び県民・職員双方にとつての利便性向上等を目的として、「地域の活力向上機能」を持つ A 棟と「未来の県庁の先行モデル機能」を持つ B 棟の 2 つの施設として整備される。

	A 棟	B 棟
機能	地域の活力向上機能	未来の県庁の先行モデル機能
予定地	熊谷市本町 2 丁目（熊谷駅から徒歩 8 分）	熊谷市末広 3 丁目（熊谷駅から徒歩 15 分）
延床面積	約 35,000 ㎡	約 10,000 ㎡
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業振興施設 ■ 新埼玉県立図書館（窓口機能） ■ 埼玉県立高等看護学院 ■ 埼玉県立病院サテライト（熊谷市役所） ※市が検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 熊谷地方庁舎 北部地域振興センター、熊谷県税事務所、消費生活支援センター熊谷、北部環境管理事務所、熊谷点字図書館、熊谷保健所、北部教育事務所 ■ 単独庁舎 大里農林振興センター（熊谷・深谷）、熊谷県土整備事務所、熊谷建築安全センター、営繕・公園事務所 ■ 本庁機能の一部、サテライトオフィス
整備イメージ		

※北部地域振興交流拠点基本構想より抜粋

・フロア構成図：北部地域振興交流拠点 基本計画案より抜粋



以上